

登録コード	ASE01500	開講年度	2026				
授業科目	食品生命科学特別演習					担当教員	竹野 誠記
英文授業名	Advanced Seminar for Food Science and Technology					副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	食品生命科学分野修士課程1年生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					⇔	1. 修士論文の研究テーマの目的・目標、その社会的意義を説明できる。 2. 関係分野を調査し、修士論文の研究テーマの背景を理解している。 3. わかりやすい論理的なプレゼンテーションを行うことができる。 4. 発表内容に対して適切な討論ができる。 5. 課題を明確にし、今後の方向性を正しく提示している。
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					⇔	1. 修士論文の研究テーマの目的・目標、その社会的意義を説明できる。 2. 関係分野を調査し、修士論文の研究テーマの背景を理解している。 3. わかりやすい論理的なプレゼンテーションを行うことができる。 4. 発表内容に対して適切な討論ができる。 5. 課題を明確にし、今後の方向性を正しく提示している。
授業の概要	この演習は, 修士論文の中間発表会を通じて技能を修得するものである。 すなわち, 自身の修士論文の研究計画ならびに進捗状況について発表と討論を行う。これを通して, 研究の正しい価値感と, 研究企画力, 研究推進力, 調査力, プレゼンテーション能力, 討論能力等を備えた研究者となるための基本的な技能を修得する。						
Contents:	This seminar includes development and evaluation of the ability to present and discuss your own research theme.						
授業計画	1. 修士論文中間発表の準備、発表、討論 2. 学会発表の準備、発表、討論 これらの過程と結果を踏まえて、研究企画力、研究推進力、調査力、プレゼンテーション能力、討論能力等の現状認識と改善を行う。						
成績評価の方法	(1) 自身の研究発表の準備状況、発表態度、発表内容、討論能力等を総合的に評価する。 (2) 他者の研究発表を聴講し、積極的に討論に参加することも評価の対象とする。 秀: 90~100点、優: 80~89点、良: 70~79点、可: 60~69点、不可: 59点以下						
成績評価の基準	『授業の達成目標』に掲げた項目の達成度に応じて以下のように評価する。 秀: 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優: 授業の達成目標の水準から見てかなり上にある 良: 授業の達成目標の水準から見てやや上にある 可: 授業の達成目標の水準から見て水準にある 不可: 授業の達成目標の水準の下にある						
事前事後学習の内容	事前学習としては, 自身の研究発表の場で十分な討論が出来るよう, データの解釈はじめ, 実験結果に関係する学術情報を常日頃から広く調査し, まとめておくこと。 事後学習としては, 自身の発表に対する質疑や指摘に対し, 関連情報を十分に調べ, 考察を深めること。また, 自身の研究発表と他者の研究発表を振り返り, 良い点は取り入れるなどして高めること。						
履修上の注意	例年, 11月下旬~12月上旬に中間発表会を実施します。 教務委員からの案内に従って準備をして下さい。						
質問,相談への対応	中間発表会実施についての質問は分野教務委員が受け付けます。 研究に関することは各指導教員に相談して下さい。						
学生へのメッセージ	前向きに取り組んでください。						
【教科書】	特になし						
【参考書】	特になし						